

やまなしの青少年

題字：大澤英二会長

社団法人 青少年育成山梨県民会議

〒400-0811 甲府市川田町517番地 山梨県立青少年センター内 電話：055-287-6415 FAX：055-237-5312

URL <http://www.eps1.comlink.ne.jp/~ikusei> Mail ikusei@eps1.comlink.ne.jp

目次

県民会議第32回通常総会	1
●青少年・青少年育成 功労者等表彰	2
「やまなし子ども・若者育成指針」を策定しました	3
シリーズ 「子ども・若者の底力を信じて」 青少年が主体となった地域活動を紹介	4・5
ルポ・健やかに育て山梨の青少年 「トレを磨いて心を磨く」	6
●市町村民会議紹介	7
●投書欄「読者の声」 ●県民会議会員募集 ●新役職員紹介 ●編集後記	8



第32回通常総会の概要

平成22年5月25日、甲府市川田町の山梨県立青少年センターにおいて、(社)青少年育成山梨県民会議第32回通常総会が、180余名の会員、関係者の皆さんが出席して開催された。

はじめに大澤英二会長があいさつし、次に来賓を代表して山梨県教育委員会八木正敏事務局長から祝辞が述べられました。続いて出席された参与の方々を紹介されました。その後、総会議長に甲府市の剣持武範氏を選出し、議事の審議に入りました。

第1号議案、平成21年度事業実施報告及び収支決算報告に

ついて、第2号議案、平成22年度活動方針と重点目標(案)、同事業計画案及び収支予算案についての両議案がそれぞれ満場一致で承認されました。続いて第3号議案、役員を選任(案)についても満場一致で承認され、第10期役員体制がスタートしました。また、第4号議案の「事務局体制」の確立についても原案通り承認されました。

続いて総会関連事業として、青少年や青少年育成功労者等の表彰式が行われ、善行表彰は高校生など3名、育成指導者表彰11名、育成団体2団体が表彰されました。最後に、NHK甲府放送局鈴木郁子局長の「放送と青少年育成」と題した講演があり、終了しました。

青少年・青少年育成功労者等の表彰式が開催される



大澤英二会長あいさつ

昭和42年、全国で青少年育成県民運動が興り本県民会議も発足しました。以来、各市町村民会議や各青少年団体に関わる方々の揺るぎない信念と情熱により青少年育成活動が推進され今に至っています。日々献身的にご尽力いただいている皆様に、改めて敬意と感謝を申し上げます。

21世紀に入り10年経過しましたが、たくましく心豊かな青少年の育成は、わが国躍進のために最重要課題であることに相違ありません。

明日の山梨を担う青少年が自らの役割と責任を自覚し、豊かな情操と広い視野をもった人間へと成長していくことは、ふるさと山梨の躍進のために不可欠です。そのため、県と連携し青少年育成活動を中核となり担う本県民会議の重要性を改めて認識しているところです。発足以来40有余年、皆様には青少年のためにそれぞれのお立場で活動を推進していただいておりますが、本県民会議は、「家庭の日」「青少年を育む日」の制定、少年の主張県大会、功績者表彰、青少年指導者関係者研修、広報誌「やまなしの青少年」の発行など、様々な活動に取り組んでいます。しかし現在、少子化、都市化、情報化など著しい社会の変化で人間関係は希薄となり青少年を取り巻く環境は一段と悪化してきて、いじめ、不登校、ひきこもり、そして自殺も後を絶たず、親がわが子を殺害するという事件すら発生しています。このように青少年を取り巻く状況は悪化の一途をたどっておりますが、よってつめづめなことなく新たな思いで青少年健全育成のために取り組んで行く所存です。

この後、青少年育成に貢献された方々を表彰し、長年のご苦労に敬意を表したいと思います。今後も変わらぬご指導をお願い申し上げます。

むすびに、皆様のますますのご健勝とご活躍をご祈念し、今後も青少年育成のためにお力添えをいただけますようお願い申し上げます、会長の挨拶とさせていただきます。

演題 「放送と青少年育成」

【講師プロフィール】

鈴木郁子 (すずきいくこ) 先生

出身地 東京都

最終学歴 1982 (昭和57) 年3月 東京大学工学部卒業

職歴

- 1982 (昭和57) 年4月 日本放送協会 入局
- 5月～ 報道局 (本部)
- 報道番組ディレクター
- 1984 (昭和59) 年7月～ 福岡放送局
- 報道番組ディレクター
- 1987 (昭和62) 年7月～ 報道局
- 報道番組ディレクター
- 1993 (平成05) 年7月～ 仙台放送局 報道番組デスク
- 1996 (平成08) 年7月～ ヨーロッパ総局 (ロンドン) ディレクター
- 1999 (平成11) 年6月～ 報道局 プロデューサー
- 2001 (平成13) 年6月～ 衛生放送局 プロデューサー
- 2005 (平成17) 年6月～ 国際放送局
- 番組統括プロデューサー
- 2007 (平成19) 年6月～ 新潟放送局 放送部長
- 2009 (平成21) 年6月～ 甲府放送局 局長



「青少年・青少年育成功労者等の表彰」被表彰者・団体一覧

善行表彰 (青少年)

氏名	住所	在籍学校	推薦者	表彰対象活動の概要 (抜粋)
ムラカミ フユカ 村上 冬日	甲府市	山梨県立甲府第一高等学校 (甲府市青少年ジュニアリーダー)	青少年育成甲府市民会議	青少年育成甲府市民会議副会長、甲府市青少年ジュニアリーダーの代表として、副会長の責務に携わり、会の運営や研修活動、地域の清掃活動に積極的に参加し、地区子どもクラブのキャンプには毎年参加して、「ゆとり教育」について、堂々と自分の意見を述べた。また、部活動は、声援で部長として部長を引き継ぎ、県大会では、個人2位、団体3位など、数々の賞を取っている。中学生の頃は、甲府市と姉妹都市のアメリカン市に交換留学生として派遣され、交流を深めてきた。
サイカイ レナ 酒井 玲奈	甲府市	東海大学甲府高等学校 (甲府市青少年ジュニアリーダー)	青少年育成甲府市民会議	青少年育成甲府市民会議副会長、甲府市青少年ジュニアリーダー288名の代表として、副会長の責務に携わり、会の運営やボランティア活動、意見交換等研修会に積極的に取り組む、みんなをリードしました。ジュニアリーダー意見発表会の折りに率先して司会という大役を果たし、他のリーダーに与えた影響も大きくあります。また、地区においても、地区育成会の役員を補助し、地区活動の中心となって、ジュニアリーダー活動の推進に寄与しました。
ナトリ ヒロミ 名取 洋美	山梨市	山梨福祉法人 山梨ライトハウス (山梨ジュニアリーダーズクラブ)	山梨市青少年育成市民会議	平成14年山梨ジュニアリーダーとなり、各種活動に積極的に参加する。この間、本市ジュニアリーダーとして多大な貢献をする。平成18年ジュニアリーダーとなり、山口県美弥子市との青少年交流事業を始めとし、子どもクラブ活動、山梨市ユース協会、山梨市青年会議所の各事業(キャンプ、ハロウィンパーティー、クリスマス子どもパーティー)の指導者として献身的に取り組んでいる。

育成指導表彰 (青少年指導者)

氏名	住所	在籍学校	推薦者	表彰対象活動の概要 (抜粋)
モリカワ コミコ 森川 友美子	上野原市	上野原市スポーツ少年団 (スポーツ少年団指導者)	山梨県スポーツ少年団	昭和40年代より地域において、「バレーボール」の指導、監督として活躍し、地域の普及、振興に努めてきた。平成9年に地域の子も達もバレーボールに親しめるよう、「上野原バレーボールスポーツ少年団」を結成、競技の楽しさを伝えるとともに、競技のみでなく、スポーツを通じての地域との交流、清純なまでのボランティア活動などスポーツ少年団が目的とする「スポーツを通じて青少年のからだところを育てる」を地域社会の中に実践してきた。
ワタナベ カズフミ 渡辺 一文	富士河口湖町	ボイスカウト河口湖第2団	ボイスカウト山梨連盟	昭和45年から40年間、富士河口湖町の青少年を対象にしたボイスカウト教育を展開し、社会に有為な人材の輩出に努めた。
モリヤ ミノル 守屋 實	上野原市	青少年育成上野原市民会議 (副会長)	青少年育成上野原市民会議	長年にわたり、上野原市青少年育成連絡協議会長及び上野原市青少年育成推進員会長を務め、青少年育成上野原市民会議副会長として、上野原市の青少年健全育成活動の先頭に立ち、活躍された功績は、多大である。
ナカザワ トモユキ 中沢 朝征	北杜市	青少年育成北杜市民会議 (会長)	北杜市教育委員会	小淵深町の町民会議の副会長及び会長を歴任され、町村合併後も引き続き地区市民会議の会長を務めている。合併後の新体制下では、地域の細やかな指導力を発揮し、新しい取り組みを積極的に取り入れ、関係団体との連携強化に大きく貢献している。昨年4月からは、市民会議の会長も務め、市内8つの地区市民会議をまとめ、市の青少年育成活動の推進に尽力している。
ホリエ キヨミ 堀江 清美	南アルプス市	南アルプス市青少年育成 若草地区市民会議	南アルプス市民会議	堀江さんは、平成11年4月から15年3月まで子どもクラブ指導員、平成15年4月から19年3月まで青少年育成推進員の役割を歴任した。なかでも、平成19年4月からは21年3月まで子どもクラブの交流活動を企画、実施し、子ども相互の交流を促す中で体験活動をより積極的に取り進めてきた。担任、任前中、甲府市子どもクラブ指導員4年、甲府市子どもクラブ指導員2年、合わせて山梨県子どもクラブ連合会理事と子どもの成長に合わせた、状況を的確に判断する中で、指導性を発揮し、地域の子どもの教育に力を注いだ。

育成指導者表彰 (育成功労者)

氏名	住所	在籍学校	推薦者	表彰対象活動の概要 (抜粋)
イシイ コキオ 石井 幸雄	甲府市	里垣地区育成協推進協議会 (会長)	青少年育成甲府市民会議	昭和61年から地区青年部長として、新組織体制の確立や地域に根ざした育成活動を展開した。平成4年4月からは、地区育成協協議会会長を務め、組織強化をはじめ事業の拡大、広域活動の実現を図るなど青少年の健全育成に多大な貢献を果たしている。
ワタナベ タクシ 渡邊 健	南アルプス市	南アルプス市青少年育成 若草地区市民会議	南アルプス市民会議	平成17年より下井川地区育成協会会長に就任され、この間若草地区市民会議会長、南アルプス市民会議副会長として行政事務を履修され、下井川地区において、親子ふれあいの図書館、親子ふれあい写真コンクールなどの新規事業を創設され、青少年の健全育成指導に情熱を傾注された。また、平成18年度では、南アルプス市長会連合会長として南アルプス市の自治活動の発展に寄与された功績は顕著である。
イシカワ トシユキ 石川 俊幸	南アルプス市		南アルプス市民会議	昭和49年より甲府市子どもクラブ指導員5年という長きに渡り、地域の子どもの指導するとともに、任期中山梨市社会教育委員を務めた。この間「海の子」の子として、駒形県井川町子どもクラブの交流活動を企画、実施し、子ども相互の交流を促す中で体験活動をより積極的に取り進めてきた。担任、任前中、甲府市子どもクラブ指導員4年、甲府市子どもクラブ指導員2年、合わせて山梨県子どもクラブ連合会理事と子どもの成長に合わせた、状況を的確に判断する中で、指導性を発揮し、地域の子どもの教育に力を注いだ。
ナカザワ ススム 中澤 進	山梨市	山梨市青少年育成市民会議 (副会長)	山梨市青少年育成市民会議	山梨市市民会議副会長、加藤地区市民会議会長、山梨市青少年対策推進委員会としての発展に尽力されると共に、身体・冬休みの青少年の生活指導等、地域に根ざした取り組みも積極的、他の職歴も豊富である。また、山梨市青少年連合会理事として、平成11年度より子どもクラブ指導員として、積極的にその活動を推進して青少年の育成に指導力を発揮し、更に、自主スポーツ少年団交流事業においてホームステイを受け入れ、青少年の健全育成の場を提供するなど、青少年の健全育成に顕著な功績を挙げた。
ヒゲチ カツヒロ 樋口 勝洋	山梨市	山梨市青少年育成市民会議 (副会長)	山梨市青少年育成市民会議	山梨市市民会議副会長、若手地区市民会議会長、山梨市青少年対策推進委員会としての発展に尽力された。また小学校PTA役員として、子どもたちの育成活動に熱心に取り組むかわり地域に根ざした取り組みも積極的、他の職歴も豊富である。また、山梨市青少年連合会理事として、平成11年度より子どもクラブ指導員として、積極的にその活動を推進して青少年の育成に指導力を発揮し、更に、自主スポーツ少年団交流事業においてホームステイを受け入れ、青少年の健全育成の場を提供するなど、青少年の健全育成に顕著な功績を挙げた。
タケイ クニオ 武井 邦夫	都留市	協働のまちづくり推進委員会 (幹事)	都留市青少年育成市民会議	継承して伝承文化を継承させた。小野神楽まつり学校を設立し、その代表として「大人」と「子ども」が一体となった活動を活発に行っている。また、地方からの出身者が多数を占める都留文化科大学の学生が設立した、地元の子供たちとの交流を目的とした「わくわく学級」の顧問として、積極的にその活動を推進している。これは現在、希薄なまでに受け継がれている。異世代間の交流、地域と子どもとの交流、伝統文化の伝承等の問題解決に大きく寄与し、青少年健全育成活動の成果向上に多大な貢献をしており、その功績は多大である。

育成指導者表彰 (育成団体)

団体名	住所	代表者	推薦者	表彰対象活動の概要 (抜粋)
ボイスカウト甲府第7団	甲府市	山岸 一芳	ボイスカウト山梨連盟	1969年発足当初は、日本基督教団山梨教会を育成母体に、その後、甲府市北西部の有志による組織を育成母体に、甲府市北西部及びその周辺を地域活動として、40年間スカウト教育を中心に青少年の健全育成に努め、1000人を超える有為な人材を輩出した。
社団法人ガールスカウト日本連盟山梨県第二団	南アルプス市	山本 慈	ガールスカウト山梨県支部	発団よりガールスカウト精神である「自ら考え、行動し、思いやりのある心で大切」をモットーに社会奉仕活動に努めている。甲府南ロータリークラブの「愛の森、自ら事業」への参加協力や「舞鶴城公園緑地整備」春と冬(2回)に美しい花を植えている。

「やまなし子ども・若者育成指針」を策定しました

山梨県教育庁社会教育課

本県の新しい青少年育成指針となる「やまなし子ども・若者育成指針」を平成22年3月に策定しました。社会の変化に対応し、5年ぶりに見直したもので、その概要を紹介いたします。

1 指針策定の趣旨

青少年をめぐる今日的課題に適切に対応し、青少年が誕生から社会的自立にいたるまでの支援施策を総合的かつ体系的に構築し、効果的に推進します。

2 指針の位置づけ

県において取り組むべき青少年育成施策を総合的かつ効果的に推進するための行動指針となります。県の青少年育成の基本理念や、青少年自身への期待と、施策の基本的方向、具体的な展開を示します。県の他の計画と相まって、子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援を実施します。

3 指針の期間

平成22（2010）年度から平成26（2014）年度までの5年間とします。（必要に応じて計画の見直しを行います）

4 指針の対象

青少年の範囲は、0歳からおおむね30歳未満としますが、必要に応じ、この年齢に幅を持たせるなど柔軟な対応を行います。

5 指針の基本理念

児童の権利に関する条約の理念を基礎とし、青少年の立場を第一に考え、ふるさとを愛するとともに国際社会に通じる山梨の青少年の育成を目指します。

6 指針の基本的な柱

青少年の健全育成を推進していくために、あらゆる分野における様々な視点からの取り組みを、次に掲げる施策体系に基づき、その位置づけを確認しながら効果的に進めます。

青少年が安心して心豊かに暮らせる環境づくり

- (1) 青少年の健やかな心身の発達のための支援
- (2) 青少年の居場所づくり
- (3) 安全・安心なまちづくり

青少年を取り巻く社会環境浄化の促進

- (1) 社会とのつながりや規範意識を高めるための取り組みの推進
- (2) 社会環境の浄化

青少年の豊かな人間性を育む家庭・地域・学校づくり

- (1) 家庭教育の充実
- (2) 地域教育力の向上
- (3) 地域と連携した学校教育の充実

青少年の自立と社会性を育む環境づくり

- (1) 青少年の社会活動・体験活動の充実
- (2) 青少年の意見を反映する機会の推進
- (3) 青少年の就業支援の推進

社会生活を円滑に営む上での困難を有する青少年

- (1) 困難を有する青少年への支援
- (2) 相談体制の充実
- (3) 要保護児童に対する支援の強化
- (4) ニート・ひきこもりに対する支援

青少年健全育成に向けた県民総参加の取組

- (1) 庁内の推進体制の構築
- (2) 市町村及び青少年育成団体との連携の推進

子どもや若者が自主的に取り組む
社会体験や自然活動などを紹介します。

子ども若者

シリーズ 育てよう青少年の主体的な活動

大自然で深呼吸してリフレッシュ

山梨市青少年育成
カウンセラー
佐藤 哲夫

山梨百名山の7つの山がたたずむ、山梨市三富エリアの市営久渡の沢釣り場において、山梨市子どもクラブ連絡協議会が主催する「マス釣り大会」が開催され、50組130名余りの親子が参加しました。笛吹川の上流、広瀬湖に注ぐ源流域にある久渡の沢で、自然の渓流に放流されたヤマメやニジマスなど、自分たちで釣った魚をその場でバーベキューをして楽しんでいる親子や、子どものために一生懸命釣り針に餌をつけてあげている親、また慣れない手つきで釣り上げたマスを捕まえる子どもたちなどで、できたての酸素とマイナスイオンに満たされた自然にかこまれ、清流のせせらぎと野

鳥たちの鳴き声の中、大自然を満喫しながら親子の交流ができました。

以前は、それぞれの地域を流れている川原で、子どもたちがみずあそびや魚釣りを楽しみながら、地域の異年齢集団の中でたくましく育っていましたが、そうした光景もここ数年見られなくなってしまいました。近年の少子化・核家族化・人と人の心のふれあいの希薄化等、子どもたちの生育環境の著しい変化の中、長年続けられてきたこの行事は、自然とのふれあい・親子のふれあい活動の絶好の場であると考えられます。



自然体験教室「釈迦ヶ岳親子ハイキング」

笛吹市青少年育成
コーディネーター
荒井 武夫

笛吹市では6月6日(日曜日)に親子の交流を深めてもらうことを目的に、自然体験教室「釈迦ヶ岳親子ハイキング」として、市内各地から親子36人の参加のもと実施しました。

目指した釈迦ヶ岳は標高1,641m。アップダウンのコースを歩きながら、先導者が途中で見つけた珍しい花や植物の名札をたて学習し、写真撮影しながら、頂上直前で急な岩場に挑戦する等、子どもより親のほうが大変そうでした。

すずらん畑駐車場から約2時間かかった頂上で、360度見渡しながら食べたお弁当は格別でした。食後には折り紙教室などを楽しみ、ケガもなく無事に下山しました。

参加者のアンケートには、「休日に子どもとふれあう機会が少ないので、一緒に行動でき、貴重な時間が持てよかった。」「上り坂や下り坂、岩場などもあって、やったことのないこともできたので勉強になった。」「子どももハラハラドキドキして楽しそうだった。」「この企画を通して、精神力がつき子どもたちも何事にも挑戦するようになりました。」などとありました。

笛吹市には、山梨百名山に登録されている山が、釈迦ヶ岳をはじめ、9座あります。

今後も、この様な恵まれた環境を活かし、家庭教育活動の

一環として「親子での自然体験教室」を継続して行きたいと考えています。



山頂での親子揃って記念写真



岩場を登る親子



先頭で山野草の名札



折り紙教室：コーディネーターが指導

若者の底力を信じて

みんなで
地域社会づくりを
考えていきましょう。

「北杜市の若者育成への取り組み」

北杜市教育委員会
寺島和彦

北杜市の青少年育成市民会議は、旧町村の単位で組織する8つの青少年育成地区市民会議と市子どもクラブ指導者連絡協議会とを、主な構成団体としています。なかでも、市子どもクラブ指導者連絡協議会に所属する、ジュニア・リーダー会は、中学3年生から高校3年生までと、20代の若者指導者たちを含む、約70人が所属する大きな団体です。

毎年、ジュニア・リーダー会には、野外体験活動が大好きな、元気いっぱいの若者たちが集い、毎月1回の学習会を開催しています。若者たちは、この定例会において、野外炊事の練習をしたり、レクレーションの指導方法を学んだりしながら、リーダーとして必要な心構えを学び、野外体験活動



の知識や技能を身に付けていきます。

そして、この会で経験を積んだ若者たちは、市が開催する中学生キャンプや、地域の交流事業などに、指導者として積極的に参加し、その力を存分に発揮しています。

この取り組みは、約10年前から続いており、その間にジュニア・リーダー会の中心を担う若者たちが育ち、今度は、その若者たちが指導者となり、会の運営に惜しみない力を注いでいます。

今後も、市はこの取り組みを温かく見守り、若者たちの健やかな育成をより一層目指していきます。

自然の中で楽しく学ぶ大自然体験会

富士川町青少年育成
カウンセラー
大森きよ子

四季折々の自然が豊かな富士川町では、大自然の中で、野外体験活動や自然の観察をしながら環境問題への興味、関心を高める。また異年齢集団での宿泊活動を通して、自主性、協調性を育て、あわせて地域ジュニアリーダーとしての育成を図ることを目的に、平成9年度から、町教育委員会と青少年育成町民会議が協力して、青少年を対象に大自然体験会を行っています。場所は、自然の宝庫、櫛形山の麓にある自然環境施設の増穂ふるさと自然塾。ここは自然環境や森林浴を楽しんだり、コテージやキャンプサイトで宿泊ができたりと、自然の醍醐味を満喫できる施設です。毎年1泊2日で



4年生から中学3年生までの子どもたちが、そば打ち体験や土器作り、自分たちの手で設営したテントでの野営体験をします。「班の仲間と協力していろいろなことができて楽しかった」「いつもできない体験ができて良かった」など、子どもたちは大自然の中で、いろいろな体験をしながら仲間作りをし、楽しく学びます。また中学生は、地域における子どもクラブのリーダーとして豊かな人間性を育む学習の場ともなっています。

合併して富士川町となった本年度は、増穂地区と鯉沢地区の子どもが合同で行う最初の体験会です。今まで以上に交流が深まり楽しい体験会になるよう張り切っています。



▲清水 徹氏

トイレを磨いて心を磨く！

「トイレ清掃を通じて青少年健全育成」、をと設立された、山梨掃除に学ぶ会代表世話人清水徹さんは、山梨県警察学校長

を努められる警察官です。活動を初め10年経過し、県内外の小中高校等でトイレ清掃を実践し、参加者は12,000人を超えたそうです。先日、活動状況をお聞きするために職場にお伺いしましたが、警察官といういかついイメージをみじんも感じさせない和やかな雰囲気取材に応じていただきました。

●参加者延べ12,000人

「山梨掃除に学ぶ会」は、平成12年3月16日の南アルプス市立（旧櫛形町立）小笠原小学校で第1回を開催。その後、県内の小中高等学校等でトイレ清掃を実践し、参加者は延べ12,000人を超えました。本年2月には10周年を迎え、第1回目を開催した小笠原小学校で100回記念大会を開催させていただきました。

私は、先生、児童生徒、保護者の皆様と一緒に県内外の小、中、高等学校でトイレ清掃を実践して10年が経過する中で多くのことを学ばせていただきました。

掃除には、ただ単に周囲をきれいにするだけではなく、人間を根底から変える力があるようです。



●ある中学校で起きた出来事

「平成15（2003年）」、県内のある中学校にトイレ掃除に行ったときの事です。学校の玄関に、7、8人の男子生徒が寝そべっていました。頭にそりが入っているところを見ると、番長グループでしょうか。学校も持て余しているのでしょうか。

ところがその生徒たちも他の生徒たちと同じようにトイレ掃除に参加し、便器に手を突っ込んで磨いたのです。

掃除が終わってお昼を食べ感想発表会になりました。するとこのグループのリーダーがつかつかとみんなの前に出てきてこう言ったのです。『おめえら、俺が磨いた便器を汚すんじゃねえぞ！』みんな呆気に取られましたが、その後さかさず万雷の拍手が巻き起こりました。会が終わって掃除道具の後片付けをしていると、例のグループが私のところにやってきて整列し、『ありがとうございます！』と全員が頭を下げたのです。たった1回のトイレ掃除だったのに、彼らの心に非常に訴えるものがあったようです。

掃除をするとその人の表情が生き生きとしてきます。人によっては、見違えるほどよい人相になります。性格が穏やかになります。本当に不思議です。

また、校内暴力等により学校が荒れていた県内のある中学校では、このトイレ掃除を実施したところ、自分たちの中学校だけでなく、出身の小学校のトイレ掃除の他、近くの公園のトイレ掃除をするようになりました。今では、子ども掃除の会が毎年8月の第1日曜日に実施しています神社のトイレ掃除をご一緒して下さるようになりました。

県大会で優勝したこの学校のバスケットボール部の生徒さんは、会場に最後まで残って会場のゴミを拾い、トイレの掃除をしてから会場を後にしたのです。

心温まる素晴らしい生徒さんです。

●29年ぶりの体育祭開催

「広島市にある中学校を会場にして「掃除の会」を開催したことがあります。その中学校はそれまで校風が荒れていて体育祭どころではなかったのです。ところが、連続して3回、徹底した掃除を行ったことがきっかけになって、なんと29年ぶりに体育祭が開催されるまでになりました。私はこの学校でも生徒さんと一緒にトイレ掃除をさせていただきました。環境が綺麗になって、校内の雰囲気が穏やかになったからだと思います。

●「ひとつ拾えば ひとつだけキレイになる」

ゴミを拾うことはとても勇気が必要ですが、そのゴミを一つ拾うことは確実に一つそのゴミがなくなります。更にゴミを拾うことのできる人は決してゴミを捨てなくなります。これを誰も彼もが行ったとしたら、その街は必ず綺麗になり、みんなの心も必ず綺麗になると思います。人はいつもみているものに心も似てきます。

私はこうした活動を通じて「実践は最大の説得力」「結果こそ現実」ということを学ばせていただきました。



山梨掃除に学ぶ会連絡先

山梨掃除に学ぶ会 代表世話人 清水 徹
FAX 055-277-3977
携帯 090-5409-0999

※山梨掃除に学ぶ会の活動に参加してみたい方はお気軽に連絡してください

(社)青少年育成山梨県民会議広報委員会

地域を支える市町村民会議

～そのプロフィール～

笛吹市青少年育成推進協議会

【会長】 風間 修氏
(平成22年5月21日就任)

【設立】

平成18年6月15日
(平成16年10月に旧6町村が合併し、笛吹市となったため)

【会員数】

各地区青少年育成推進協議会役員、ジュニアリーダー役員として28名

【事務局】

笛吹市石和町市部809-1 笛吹市役所南館3階
笛吹市教育委員会 生涯学習課内

【目的】

家族や地域が子ども達をあたたく見守り、子ども達の生きてはたらく力と自然や郷土を愛する気持ちを育て、日々の生活を支える環境を整えることにより、青少年の健やかな成長を図る。

【青少年への期待】

「あいさつ 聞き方 言葉遣い」を実践し、家族や人を思いやり、笛吹市の自然や地域を大切に思う気持ちをもつ大人へと成長してほしい。

【地域の大人へ】

社会全体で青少年を見守り、育成する「地域社会の力」「地域の子もは地域で育てる」を活動の基本としています。地域の大人一人一人による子ども達への声かけは、家族や人への思いやりの心を育てます。子ども達の生きてはたらく力を育てるため、自然体験、社会体験、集団遊び、世代間交流など積極的・自主的な取組をお願いします。

【事業の概要】

- ・各地区育成部会、子どもクラブ指導員会の委員の活動促進
- ・愛のパトロールの実施
- ・子どもクラブ球技大会の実施
- ・青少年の非行問題に取り組む全国強調月間における普及啓発活動
- ・青少年健全育成強調月間における講演会の実施
- ・指導者のための講習会の実施

【今後の目標】

家族や社会にとって、可能性を秘めた掛け替えのない存在である青少年の健全育成に、学校や地域、関係機関と連携し、一体となった活動を推進していく。



風間 修会長

南部町民会議

【会長】 城内 譽繼氏

【設立】 平成15年3月
(旧南部町・富沢町の合併により設立)

【会員数】 94名

【事務局】

南部町内船4473-1
南部町教育委員会
生涯学習課

【スローガン】

「みんなで作ろう！ 安心・安全のまち」
～ 地域に「気配り」「目配り」「心配り」の輪を広げよう ～

【今年度事業計画】

月 日	内 容
6月11日	平成22年度定期総会 講演『少年非行の現状と課題』 山梨県警察本部 橘田 清 少年対策官
6月5日	長谷川さち子ピアノコンサート 《新日本フィル首席チェリストと室内楽の夕べ》
7月	青少年の非行問題に取り組む強調月間 ・本庁舎、分庁舎への懸垂幕設置
7月3日	親子映画鑑賞会 ・昼『カールじいさんの空飛ぶ家』 ・夜『おとうと』
7月15日	夏季生活指導連絡協議会
7月25日	アルカディアスポーツフェスタ2010 ・キンボール大会(子どもクラブ連合育成会) ・プール開放 他
夏休み 期間中	愛のパトロール(高校生保護者会) ・町内4地区における夜間パトロール
9月中旬	『家庭の日』『青少年を育む日』に関するポスター・作文・標語の審査
10月	スポーツ観戦教室 ・《早慶戦》観戦
11月	青少年健全育成強調月間 ・本庁舎、分庁舎への懸垂幕設置
12月	冬季生活指導連絡協議会
1月	新春書道展開催・表彰式(子どもクラブ連合育成会) 生涯学習フェスティバル
2月	・『家庭の日』『青少年を育む日』優秀作品表彰 ・講演

【その他】

町内7小中学校における《ケイタイ・インターネット》関係の実態調査を行い、平成19年冬季生活指導会議から年3回の会議の中で学習会を実施してこの問題に取り組んでいる。

読者の声 私はこう思う

自然に遊び自然に学ぶ

青少年の健全育成運動には、大別して二つの面がある。一つは、有害図書スタンドの撤去運動や非行防止の地域パトロールのように抑止力が必要なものと、もう一つは、各地域でそれぞれの特色を生かして、青少年の主体的活動を促す取り組みである。

小菅村は多摩川の源流にあり、自然が豊かな地域である。文化施設こそ貧しいが、環境浄化に取り組む他地域の労苦を考えれば、恵まれた環境といえよう。

人づくりの理想は、「小菅人を育む会」に、謳っている。それは、老いも若きも、男も女もそれぞれの個性を尊重しながら共に育つことであり、子ども達の育成の基調は、豊かな自然を活用した体験活動に置いている。

親と子が春は野鳥のさえずりの中で山菜を手折り、夏は昆虫を追い、ヤマメを釣り、秋は草を探し、ほうとうの鍋を囲む、手作りの弁当を背負って大菩薩の峰峰を駆けめぐるといのように、四季の移ろいを肌で感じながら、自然と直接触れ合う機会を取り入れている。これらの体験を通して、子ども達が自然の営みに感動し、不思議さを発見し、生き物の命の尊さを知り、ものの考え方や行動の仕方を身につけてほしいと願っている。

(小泉 守)

読者の声欄に投書を

本誌では、青少年の健全育成について読者の投書欄を設けています。下記まで郵送またはFAXでお送りください。

〒400-0811 甲府市川田町 517

県立青少年センター内

(社) 青少年育成山梨県民会議 「やまなしの青少年」担当

FAX 055-237-5312

会員を募集しています

(社) 青少年育成山梨県民会議とは

山梨の次代を担う青少年の健全育成のため、県民が一致協力して活動に取り組むことを目的に発足した「青少年育成県民運動」(総合対策本部長、県知事)の推進母体です。

この活動からの補助によって支えられています。青少年の健やかな成長のため是非、会員になって運動をご支援下さい。

会員には正会員と賛助会員があります。

正会員 当会議の目的に賛同し協力していただく個人、団体の皆さんです。会費は、個人会員2,000円、団体会員3,000円をお願いしています。正会員は総会における議決権を有します。また、種々の事業に参加していただくこともできます。広報誌「やまなしの青少年」(年2回、各3万部発行)をお送りします。

賛助会員 当会議の目的に賛同して篤志寄付(賛助会費)をしていただく個人・企業・団体の皆さんです。賛助会費は年額1万円(一口)以上をお願いしています。広報誌「やまなしの青少年」にお名前を掲載し、同誌をお送りします。

ご入会のお申し込みは随時受け付けております。下記の連絡先まで、お気軽にお電話ください。また、郵便振替及び銀行振込による会費納入が可能です。振込先は次の口座までお願いします。

<郵便振替>

No.00430-1-4310 (社)青少年育成山梨県民会議

<銀行振込>

山梨中央銀行 石和支店 普通 No.916072

(社)青少年育成山梨県民会議 会長 大沢英二

◎お問い合わせ先

(社)青少年育成山梨県民会議事務局

〒400-0811 甲府市川田町517番地 県立青少年センター内

TEL 055-287-6415

(社) 青少年育成山梨県民会議役員等

会 長	大 澤 英 二		
副 会 長	岡 保 渡	尚 坂 辺	志 住 弓
理 事	堀 川 喜美雄	豊 岡 正 仁	種 田 一 夫
〃	小 宮 山 英 人	野 口 英 一	依 田 茂 己
〃	松 橋 勝 美	笠 井 勲 二	
〃	露 木 淳 司	畑 眞 二	
〃	小 林 貞 夫	深 沢 英 明	
〃	金 丸 康 信	堀 内 邦 謙	
〃	小 泉 明 義	櫛 川 達 東	
〃	古 屋 文 子	川 窪 海 彦	
監 事	辻 英 夫	長 田 玉 夫	
総務委員会	委員長 副委員長	剣 持 武 範	
青少年委員会	委員長 副委員長	佐 藤 哲 夫	
環境委員会	委員長 副委員長	山 崎 義 雄	
広報委員会	委員長 副委員長	露 木 淳 司	
参 与	上 笹 純 夫	樋 口 高 子	
	古 屋 正 人	狩 野 勉	
		笠 井 勲 悟	
		横 森 梨 枝 子	
		川 崎 雅 明	

— ご 報 告 —

前事務局長堀内豊彦氏は、平成22年3月31日付で退職いたしました。2年間にわたり事務局長の要職を務められ、青少年の健全育成に誠心誠意努められたことに感謝いたします。

編集後記

長かった梅雨も明け、本格的な夏の暑さがやってきました。夏休みに入り、和田町子どもクラブでは7月31日に例年のキャンプを甲府市堂の山キャンプ場で楽しく実施しました。キャンプは、子どもの遊びが少ない中で仲間との野外活動を通じ、人間形成の上で大きなプラスになると確信しております。

県下に「子どもキャンプ」の輪が広がることを夢見ています。

やまなしの青少年も予算の関係から、年2回の発刊となりますが編集委員が創意工夫して、今まで以上に充実した内容のものをお届けできますよう頑張ります。

広報委員長 笠井 勲